



第2回（2017年度）日本アレルギー学会男女共同参画奨励賞受賞者

日本アレルギー学会では、男女共同参画の取り組み・支援システムの促進を目的として「男女共同参画奨励賞（The Gender Diversity Award）」を設け、男女共同参画の理念に基づいた活動を継続している学会員、または所属機関を表彰・広報し、さらなる男女共同参画活動の推進を目指しています。2017年度、第2回日本アレルギー学会男女共同参画奨励賞は、学会員及びその所属団体を対象に、学会誌及び学会ホームページにて公募し厳正なる選考のうえ、平成29年12月15日の理事会において下記の通り受賞者を決定致しました。受賞式は、本年6月24日第67回学術大会時の男女共同参画委員会企画セミナー内にて行われる予定です。

受賞者

清水薫子（北海道大学病院内科1/男女共同参画推進室）

清水先生は、北海道大学病院男女共同参画推進室の推進室員として北海道大学病院附属保育園や病後児保育室、時短勤務制度の運営に携わり、研修医、医学生の啓発活動を長期にわたり実践されてきた。また、北海道医師会や、北海道女性医師の会などと連携し男女共同参画における横断的な活動に貢献するとともに、小中高生対象イベントへの参画等の次世代の育成に寄与するなど、大学病院内の活動にとどまらない多岐にわたる取り組みが評価された。

